

2016年度事業計画書

NPO 法人あつちこつち

2016年4月1日～2017年3月31日

平成28年5月23日

1 事業活動方針

地域社会に対して、芸術での社会活動に関する事業を行うことで、文化・芸術の振興を図り、若いアーティストが活躍できる場を増やし、社会活動について考える機会をつくることを目的に事業を行う。2016年度は、通年行っているアーティストと被災地を繋ぐコンサートを被災地や被災地以外でも開催する他に、アーティストと地域をつなぐコンサートやワークショップを行なう。また若手アーティストの社会貢献活動支援事業も本格的に行なう。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業 / 芸術を通じた社会貢献事業

東北被災地支援コンサート事業

東日本大震災被災地の宮城県内及び福島県内の仮設住宅集会所などのカフェ・コンサートを主催。横浜市内で募ったボランティアによる手作りお菓子や、珈琲豆、茶葉などを用意し車で被災地へ向かい、交流の場や楽器体験ワークショップなどを取り入れたコンサートを提供する。

- ・日 時 通年（月に2日間ほど）
- ・場 所 宮城県七ヶ浜町、石巻市、南三陸町、福島県いわき市他
- ・従事者人員 延べ200人
- ・受益対象者 東日本大震災被災者 主に仮設住宅住民 延べ1,000人
- ・支出見込額 2,400,000円

(2) ワークショップ

ア 芸術普及と地域社会をつなぐワークショップ

- ・内 容 子どもとその保護者が若いアーティストと共に総合芸術を体験し、作り上げるワークショップ。横浜にある保育専門学校と連携し、学生がインターナンスとして参加、共に運営を行う。
- ・日時/場所 2016年12月11日／戸塚区民文化センターさくらプラザを予定。
他、プレワークショップをアートスペース「と」にて2～3回予定。
- ・従事者人員 30人
- ・受益対象者 児童・学童とその保護者 400人
- ・支出見込額 800,000円

イ 横浜市芸術文化教育プラットフォーム

- ・内 容 「アーティストが学校へ」をコンセプトにした活動で、当法人は横浜市からの依頼を受け、横浜市内の小学校へアーティストを派遣、またコーディネーターを務める。
- ・日 時 通年（4校予定）
- ・場 所 神奈川県横浜市内の小学校等
- ・従事者人員 延べ20人
- ・受益対象者 横浜市内の小学生、学校教職員等 延べ400人
- ・支出見込額 750,000円

(3) 芸術普及と地域社会をつなぐコンサート事業

ア 紋カフェ・コンサート

- ・内 容 介護施設の入居者とその家族、また地域の住民をつなぐカフェ・コンサートを若手アーティストとともにを行う。
- ・日 時 通年（3回予定）
- ・場 所 神奈川県等の介護施設、医療施設、公共施設など
- ・従事者人員 延べ20人
- ・受益対象者 介護施設、その家族、地域住民、施設スタッフ 延べ200人
- ・支出見込額 300,000円

イ MMCJ ヨコハマ 2016（横浜国際教育音楽祭）制作協力

- ・内 容 MMCJ事務局、横浜市等と協力し、日本国内及び海外から受講生を募り、約2週間のセミナーを行う。日本、横浜の食や文化を受講生に伝える役割も担う。最後には、講習の成果を市民に向けて発表。室内楽とオーケストラのコンサートを開催する。
- ・日 時 2016年7月2日～15日
- ・場 所 神奈川県横浜市みなとみらいホール、東京都千代田区紀尾井ホール
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 セミナー受講生、横浜市民、コンサート来場者等 約3,500人
- ・支出見込額 1,700,000円

ウ 横浜市内での芸術振興を目的としたクラシック・ヨコハマ（MMCJ）
 コンサートの運営協力

- ・内 容 MMCJの過去の受講生たちによるカルテットを編成。
 コンサートの制作・マネージメントを担当（3か所で開催予定）
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 主に横浜市民 約250人
- ・支出見込額 30,000円

(4) 若手アーティスト支援事業

アーティストのオーディション

- ・内 容 社会貢献活動を行う才能ある若手アーティストを見出し、その教育と活動の機会を与える。そのために今年度はあらたにオーディションを開催。また、現在活動中のアーティストに関してはオーディション無しで登録可能とする。登録料は5,000円。
- ・日 時 毎月
- ・場 所 あつちこっち事務所
- ・従事者人員 3～4人
- ・受益対象者 30人
- ・支出見込額 10,000円